

<第6章 調査票〔単純集計結果〕>

第6章 単純集計結果

最初に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

Q1 性別(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	男性	841	46.9%
2	女性	946	52.7%
3	その他	2	0.1%
	無回答	6	0.3%

Q.2 年代(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	10 歳代	24	1.3%
2	20 歳代	97	5.4%
3	30 歳代	173	9.6%
4	40 歳代	265	14.8%
5	50 歳代	260	14.5%
6	60 歳代	368	20.5%
7	70 歳以上	600	33.4%
	無回答	8	0.4%

Q.3 職業(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	農林業	76	4.2%
2	漁業	4	0.2%
3	商工サービス業自営	100	5.6%
4	事務職	187	10.4%
5	技術職	230	12.8%
6	労務職	212	11.8%
7	管理職	68	3.8%
8	自由業	32	1.8%
9	主婦・主夫	198	11.0%
10	学生	41	2.3%
11	無職	441	24.6%
12	その他	183	10.2%
	無回答	23	1.3%

Q.4 あなたの属性(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	世帯主	1,021	56.9%
2	世帯主ではない(世帯員)	768	42.8%
	無回答	6	0.3%

Q.5 婚姻状況(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	未婚	362	20.2%
2	既婚	1,134	63.2%
3	その他(離別、死別を含む)	287	16.0%
	無回答	12	0.7%

Q.6 子どもの状況(同居・別居に関わらずお答えください。)(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	就学前の子どもがいる	130	7.2%
2	小・中学生の子どもがいる	169	9.4%
3	高校生の子がいる	89	5.0%
4	大学生、専門学校生等の子どもがいる	107	6.0%
5	子どもは成人している又は独立している	974	54.3%
6	子どもはいない	476	26.5%
	無回答	30	1.7%

Q.7 世帯の年間収入(税込み)(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	0 ～100 万円未満	160	8.9%
2	100 ～200 万円未満	324	18.1%
3	200 ～300 万円未満	355	19.8%
4	300 ～400 万円未満	277	15.4%
5	400 ～600 万円未満	297	16.5%
6	600 ～800 万円未満	164	9.1%
7	800 ～1,000 万円未満	82	4.6%
8	1,000 万円以上	83	4.6%
	無回答	53	3.0%

Q.8 お住まいの状況(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	持家	1,459	81.3%
2	借家	318	17.7%
	無回答	18	1.0%

Q.9 お住まいの場所(広域市町村圏)(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	高知市	811	45.2%
2	安芸広域圏	104	5.8%
3	南国・香美広域圏	267	14.9%
4	嶺北広域圏	31	1.7%
5	仁淀川広域圏	130	7.2%
6	高吾北広域圏	54	3.0%
7	高幡広域圏	141	7.9%
8	幡多広域圏	244	13.6%
	無回答	13	0.7%

1. 県の基本施策について

県の進めている8つの基本的な政策について、以下それぞれお伺いします。

問1 「経済の活性化」について、第4期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	農林漁業の生産地の強化	631	35.2%
2	加工食品や機械などのものづくり産業の振興	273	15.2%
3	観光の振興	412	23.0%
4	県産品等の県外・海外での販売促進支援	303	16.9%
5	県外からの移住の促進	334	18.6%
6	起業や新たな事業展開を志す方への支援	283	15.8%
7	産業の担い手の育成・確保	698	38.9%
8	各産業分野におけるデジタル化の促進	135	7.5%
9	関西圏との経済連携の強化	122	6.8%
10	SDGs(持続可能な開発目標)を目指した事業活動の促進	140	7.8%
11	防災関連産業、IT・コンテンツ、Society5.0 関連産業など新たな産業の創出	230	12.8%
12	県内事業者の経営基盤の強化(事業戦略の策定・実行への支援、金融支援)	394	21.9%
13	企業の誘致	425	23.7%
14	地域の商店街等の活性化	461	25.7%
15	その他	29	1.6%
	無回答	33	1.8%

問2 「日本一の健康長寿県づくり」について、第4期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	がん対策や脳血管疾患・心臓病・糖尿病などの血管病対策の推進	496	27.6%
2	生涯にわたる健康的な生活習慣の定着	578	32.2%
3	医師等の地域偏在の是正	437	24.3%
4	在宅医療・介護の推進	567	31.6%
5	救急医療体制の強化	377	21.0%
6	高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり	674	37.5%
7	障害のある方の自立を促し、安心して生活のできる地域づくり	195	10.9%
8	妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的な支援	520	29.0%
9	厳しい環境にある子どもたちへの支援	480	26.7%
10	介護などのサービス提供を担う人材の安定確保	661	36.8%
11	その他	20	1.1%
	無回答	18	1.0%

問3 「教育の充実と子育て支援」について、第2期教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	学力向上に向けた学校の組織力の強化	601	33.5%
2	道徳教育の推進	531	29.6%
3	運動能力の向上、運動習慣の確立	274	15.3%
4	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	485	27.0%
5	発達障害など特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援の充実	330	18.4%
6	貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実	553	30.8%
7	いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実	804	44.8%
8	パソコンやタブレット等を活用した教育の推進	394	21.9%
9	地域の方々との連携・協働による学習やスポーツ活動などの推進	292	16.3%
10	就学前の教育・保育の充実	222	12.4%
11	生涯にわたって学び続けられる環境づくりの推進	397	22.1%
12	その他	32	1.8%
	無回答	28	1.6%

問4 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第4期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	住宅の耐震化の強化	421	23.5%
2	津波からの避難場所や避難路の整備	531	29.6%
3	体育館などの避難所の確保や運営体制の充実	356	19.8%
4	支援物資が避難所に確実に届く体制づくり	695	38.7%
5	人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化	411	22.9%
6	前方展開型による医療救護体制の推進	272	15.2%
7	防災教育の強化	232	12.9%
8	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	381	21.2%
9	地震火災・津波火災対策の推進	154	8.6%
10	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備	244	13.6%
11	南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に備えた対策の推進	183	10.2%
12	自主防災組織など人のつながりの強化	290	16.2%
13	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	251	14.0%
14	住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策	624	34.8%
15	その他	25	1.4%
	無回答	19	1.1%

問5 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。
(2つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備	389	21.7%
2	日常生活を支える国道や県道等の整備	750	41.8%
3	台風・豪雨に備えた河川の浚渫、堤防の整備や土砂災害対策の推進	721	40.2%
4	南海トラフ地震の津波に備えた海岸及び河川堤防等の整備	381	21.2%
5	既存インフラの維持管理や老朽化対策	482	26.9%
6	公共交通機関の維持確保	418	23.3%
7	高速道路や空港、港湾等を活用した人流・物流対策	144	8.0%
8	新幹線の実現や空港の国際化	120	6.7%
9	その他	15	0.8%
	無回答	30	1.7%

問6 「中山間対策の充実・強化」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。
(2つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	食料品や日用品などの確保	352	19.6%
2	地域での医療・介護の確保	793	44.2%
3	買い物や通院のための移動手段の確保	752	41.9%
4	地域で収入を得ることができる産業づくり	599	33.4%
5	集落の維持・再生に向けた地域の支え合いの仕組みづくり	259	14.4%
6	移住促進等による地域活動などの担い手の確保	245	13.6%
7	地域での教育の拠点となる高等学校の確保	56	3.1%
8	鳥獣被害への対策	150	8.4%
9	スマートフォンやパソコン等で高速通信が可能となる情報基盤の整備	196	10.9%
10	その他	11	0.6%
	無回答	27	1.5%

問7 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	地域や職場など社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成	414	23.1%
2	出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の創出	300	16.7%
3	安心して妊娠・出産できる環境の整備	558	31.1%
4	子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減	768	42.8%
5	子どもの預け先の確保など子育て支援サービスの充実	407	22.7%
6	家事・育児の分担など家庭における男女共同参画の推進	127	7.1%
7	いったん子育て等に専念しても、希望すれば再就職できるための支援	292	16.3%
8	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり	521	29.0%
9	その他	22	1.2%
	無回答	35	1.9%

「文化芸術とスポーツの振興」について、以下それぞれお伺いします。

問8 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実	568	31.6%
2	文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実	824	45.9%
3	文化芸術活動を発表する機会の拡充	207	11.5%
4	高知固有の文化の継承や活用	693	38.6%
5	文化芸術活動を支える人材の育成	476	26.5%
6	文化芸術に関するイベント等の情報発信	335	18.7%
7	その他	29	1.6%
	無回答	62	3.5%

問9 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり	1,117	62.2%
2	選手や指導者の育成による競技力の向上	583	32.5%
3	スポーツを通じた交流人口の拡大	514	28.6%
4	スポーツ施設・設備の充実	858	47.8%
5	その他	35	1.9%
	無回答	49	2.7%

改めて、5つの基本政策と3つの横断的にかかわる政策についてお伺いします。

問 10 県が行っている8つの政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。

(2つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	経済の活性化	1,038	57.8%
2	日本一の健康長寿県づくり	129	7.2%
3	教育の充実と子育て支援	583	32.5%
4	南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化	584	32.5%
5	インフラの充実と有効活用	224	12.5%
6	中山間対策の充実・強化	310	17.3%
7	少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大	460	25.6%
8	文化芸術とスポーツの振興	62	3.5%
	無回答	22	1.2%

2. 新型コロナウイルス感染症対策について

問 12 新型コロナウイルス感染症を予防するため、実践している取り組みは何ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	外食中も会話をする時にはマスクを着用している	903	50.3%
2	まめに手洗いや手指消毒をしている	1,554	86.6%
3	人との間隔をできるだけ空けている	1,196	66.6%
4	「3密」(密集、密接、密閉)の場を避けている	1,485	82.7%
5	外食や買い物はできるだけ控えている	1,203	67.0%
6	感染が拡大している地域への移動を控えている	1,403	78.2%
7	仕事はテレワーク(在宅勤務)にしている	50	2.8%
8	特にやっていることはない	9	0.5%
	無回答	8	0.4%

問 13 新型コロナウイルス感染症やその影響について、不安に感じていることは何ですか。

(3つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	自分や家族、知人の感染	1,464	81.6%
2	各店舗による感染防止対策の実施状況	201	11.2%
3	医療の提供体制	1,079	60.1%
4	外出や移動の制約	354	19.7%
5	外出や移動の自粛によるストレス・体調不良	314	17.5%
6	子どもの学業への影響	257	14.3%
7	景気悪化による収入の減少	445	24.8%
8	勤務先の人員削減や雇用の凍結、就職難	145	8.1%
9	県経済の衰退	517	28.8%
10	その他	37	2.1%
11	特に不安はない	16	0.9%
	無回答	14	0.8%

問 14 新型コロナウイルスワクチンを接種しましたか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	2回接種した	1,231	68.6%
2	1回接種した	196	10.9%
3	まだ接種していないが予約済みである	119	6.6%
4	接種を希望するがまだ予約をしていない(接種の通知が届いていない場合を含む)	66	3.7%
5	接種するか悩んでいる	89	5.0%
6	接種しない	77	4.3%
7	その他	5	0.3%
	無回答	12	0.7%

副問1 (問 14 で「6」を選んだ方のみお答えください。) 希望しない理由は何ですか。

(特に当てはまるもの1つに○印)

(回答者数 77 人)

	項目	回答数	回答比率
1	自分は感染しないと思う	2	2.6%
2	自分は重症化しないと思う	-	-
3	あまり効果があると思わない	5	6.5%
4	副反応が心配である	17	22.1%
5	安全性に疑問を感じる	31	40.3%
6	体質により接種ができない又は主治医などから勧められなかった	12	15.6%
7	接種する時間が取れない	1	1.3%
8	接種が面倒である	-	-
9	その他	8	10.4%
	無回答	1	1.3%

3. 自宅でのインターネットの利用状況について

問 15 あなたは、自宅でインターネットを利用していますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	利用している	1,102	61.4%
2	利用していない	660	36.8%
	無回答	33	1.8%

副問1 (問 15 で「1」を選んだ方のみお答えください。) 自宅でインターネットを利用した機器は何ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,102 人)

	項目	回答数	回答比率
1	パソコン	743	67.4%
2	スマートフォン	989	89.7%
3	タブレット型端末	398	36.1%
4	テレビ	308	27.9%
5	家庭用ゲーム機	214	19.4%
6	その他	15	1.4%
	無回答	2	0.2%

副問2 (副問1を回答された方のみお答えください。) 自宅でインターネットを何のために利用していますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,100 人)

	項目	回答数	回答比率
1	仕事(農林水産業)	35	3.2%
2	仕事(テレワーク)	63	5.7%
3	仕事(その他)	172	15.6%
4	ネットバンキング	151	13.7%
5	納税	53	4.8%
6	趣味・娯楽	960	87.3%
7	通信販売の利用	595	54.1%
8	行政手続	101	9.2%
9	学校や自治会等との連絡	135	12.3%
10	災害対策・防災	129	11.7%
11	防犯	24	2.2%
12	学習	309	28.1%
13	健康管理	123	11.2%
14	受診	28	2.5%
15	交友・付き合い	471	42.8%
16	その他	23	2.1%
	無回答	15	1.4%

副問3 (副問2を回答された方のみお答えください。)自宅でのインターネット利用によって、生活の質や満足度が向上しましたか。(当てはまるもの一つに○印)

(回答者数 1,085 人)

	項目	回答数	回答比率
1	向上した	464	42.8%
2	やや向上した	343	31.6%
3	変わらない	176	16.2%
4	やや低下した	-	-
5	低下した	4	0.4%
6	わからない	24	2.2%
	無回答	74	6.8%

副問4 (問15で「2」を選んだ方のみお答えください。)インターネットを利用していないのはなぜですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 660 人)

	項目	回答数	回答比率
1	利用できる機器がない	290	43.9%
2	必要な回線・電波が届いていない	50	7.6%
3	そもそもその必要性を感じない	266	40.3%
4	インターネット利用によるトラブルに巻き込まれたくない	178	27.0%
5	その他	74	11.2%
	無回答	87	13.2%

4. 在宅療養体制の充実について

問 16 あなたや家族の方が長期療養や介護が必要となった場合、どう過ごしたいですか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	自宅で必要に応じて医療や介護サービスを受けたい	733	40.8%
2	有料老人ホームやケア付き高齢者住宅に住み替えて医療・介護を受けたい	236	13.1%
3	特別養護老人ホーム等の施設で医療・介護を受けたい	291	16.2%
4	医療機関に入院して医療・介護を受けたい	315	17.5%
5	その他	25	1.4%
6	分からない	173	9.6%
	無回答	22	1.2%

問 17 今後あなたや家族の方が長期療養や介護が必要となった場合、在宅での生活を継続するために、
 といった支援やサービスが必要とありますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	訪問診療	1,424	79.3%
2	訪問看護	1,286	71.6%
3	訪問歯科診療	783	43.6%
4	訪問リハビリテーション	964	53.7%
5	訪問服薬支援	595	33.1%
6	訪問介護(ヘルパー)などの介護サービス	1,397	77.8%
7	遠隔診療(オンライン診療)	349	19.4%
8	その他	45	2.5%
9	特になし	35	1.9%
	無回答	49	2.7%

問 18 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング(ACP))を知っていますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	知っている、または聞いたことはある	238	13.3%
2	知らない	1,505	83.8%
	無回答	52	2.9%

副問1 (問18で「1」を選んだ方のみお答えください。)どのようにして人生会議(アドバンス・ケア・プランニング(ACP))を知りましたか。(1つだけ○印)

(回答者数 238人)

	項目	回答数	回答比率
1	テレビ・ラジオ	81	34.0%
2	インターネット	32	13.4%
3	新聞	21	8.8%
4	終活セミナーなどの講演会や研修会	16	6.7%
5	家族や友人、知人	29	12.2%
6	医療機関	44	18.5%
7	薬局	-	-
8	その他	15	6.3%
	無回答	-	-

問19 人生の最終段階をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,795人)

	項目	回答数	回答比率
1	自宅	884	49.2%
2	医療機関	276	15.4%
3	有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅	51	2.8%
4	特別養護老人ホームなどの介護施設	62	3.5%
5	その他	31	1.7%
6	分からない	361	20.1%
	無回答	130	7.2%

5. 住み慣れた地域で暮らし続けることができる県づくりについて

問 20 地域での支え合いの力は、以前と比べてどうなっていると感じますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	弱まっている	967	53.9%
2	強まっている	67	3.7%
3	あまり以前と変わらない	727	40.5%
	無回答	34	1.9%

問 21 日常生活や地域での困りごとを解決していこうとする場合、家族や親せき以外で、
まずはどこに相談しますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	近所の人	593	33.0%
2	自治会長や町内会長等	361	20.1%
3	民生委員・児童委員	203	11.3%
4	お住まいの市町村窓口	723	40.3%
5	お住まいの市町村社会福祉協議会	246	13.7%
6	NPOなど民間団体	28	1.6%
7	あったかふれあいセンター	39	2.2%
8	その他の人、団体等	162	9.0%
9	どこに相談すればよいか分からない	420	23.4%
10	どこにも相談しない	140	7.8%
	無回答	24	1.3%

問 22 高齢者や障害のある方、その他様々な課題を抱える方が、地域で日常生活を送るうえで、どのような支え合いによるサービス・支援が必要と思いますか。(3つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	定期的な安否の確認などの見守り活動	1,085	60.4%
2	食事の提供などの配食サービス	694	38.7%
3	買い物や病院へ行く場合などの送迎サービス	972	54.2%
4	緊急時の宿泊や一時預かりサービス	389	21.7%
5	庭の手入れ、電球の取り替えやゴミ捨てなど日常生活の支援	326	18.2%
6	傾聴ボランティアが電話等で、話し相手や相談相手になるサービス	125	7.0%
7	介護予防体操など運動機能の維持・向上を目的とした活動への支援	186	10.4%
8	サロンのような気軽に集い交流できる活動への支援	266	14.8%
9	認知症カフェ(認知症の方とその家族、地域住民、専門職がカフェ等の形態で集う取組)	71	4.0%
10	緊急時の通報サービス	481	26.8%
11	子どもやその保護者、ひきこもりの人の居場所支援	193	10.8%
12	その他	24	1.3%
	無回答	47	2.6%

問 23 あなたは現在、地域の活動に参加していますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	積極的に参加している	80	4.5%
2	積極的ということではないが参加している	481	26.8%
3	頼まれたら時々参加している	225	12.5%
4	ほとんど参加したことがない	339	18.9%
5	全く参加していない	634	35.3%
	無回答	36	2.0%

副問1 (問 23 で「1~4」を選んだ方のみお答えください。)参加している(したことのある)地域の活動は、
 といったものですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,125 人)

	項目	回答数	回答比率
1	日常生活における声かけや安否の確認などの見守り活動	137	12.2%
2	いきいき百歳体塾などの健康づくりや、集いの場(サロンやミニデイなど)での交流活動	126	11.2%
3	地域の防災訓練や自主防災組織等の防災・減災活動	397	35.3%
4	ごみ拾いや溝掃除、草刈りなどの清掃活動	754	67.0%
5	地域のイベントの企画・運営活動	223	19.8%
6	その他	49	4.4%
	無回答	46	4.1%

副問2（問23で「5」を選んだ方のみお答えください。）参加しない理由はどういったものですか。

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 634人）

	項目	回答数	回答比率
1	仕事などの都合で機会がないから	308	48.6%
2	興味・関心のある活動内容ではないから	86	13.6%
3	活動についての情報がなく、参加方法がわからないから	240	37.9%
4	地域に気の合う人・話の合う人がいないから	116	18.3%
5	その他	98	15.5%
	無回答	15	2.4%

6. 食品ロス削減について

問 24 「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	よく知っている	768	42.8%
2	ある程度知っている	850	47.4%
3	あまり知らない	118	6.6%
4	まったく知らない	33	1.8%
	無回答	26	1.4%

問 25 「食品ロス」を減らすため、次の中で、あなたがすでに取り組んでいることはありますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	料理を作り過ぎない	897	50.0%
2	残さずに食べる	1,159	64.6%
3	残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)	452	25.2%
4	冷凍保存を活用する	1,103	61.4%
5	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	667	37.2%
6	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	1,101	61.3%
7	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する	573	31.9%
8	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	183	10.2%
9	期限間近による値引き商品やポイント還元の商品を率先して選ぶ	652	36.3%
10	飲食店等で注文し過ぎない	529	29.5%
11	外食時は、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	99	5.5%
12	食べない食品や利用しない食材等をフードバンクや子ども食堂等に寄付をする	31	1.7%
13	その他	36	2.0%
14	取り組んでいることはない	38	2.1%
	無回答	20	1.1%

問 26 食生活の中で「もったいない」を意識したことはありますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	自分又は自分の家族等が食べ残したのを見たとき	790	44.0%
2	レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき	671	37.4%
3	期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき	1,196	66.6%
4	ごみ(特に生ごみ)を捨てる時	372	20.7%
5	食品廃棄に関する問題(恵方巻の廃棄等)のニュース(記事)を見たとき	1,111	61.9%
6	その他	30	1.7%
7	意識したことはない	44	2.5%
	無回答	28	1.6%

問 27 「食品ロス」を減らすために、今後どのように取り組もうと思いますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	積極的に取り組んでいきたい	857	47.7%
2	気が付いたときに取り組んでいきたい	843	47.0%
3	取り組まない	51	2.8%
	無回答	44	2.5%

副問1 (問 27 で「1」もしくは「2」を選んだ方のみお答えください。)

「食品ロス」を減らすため、次の中で、まだ取り組んでいないが、今後取り組んでいきたいと思うことは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,700 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	料理を作り過ぎない	658	38.7%
2	残さずに食べる	543	31.9%
3	残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)	318	18.7%
4	冷凍保存を活用する	537	31.6%
5	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	457	26.9%
6	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	369	21.7%
7	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する	259	15.2%
8	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	229	13.5%
9	期限間近による値引き商品やポイント還元の商品を率先して選ぶ	220	12.9%
10	飲食店等で注文し過ぎない	222	13.1%
11	外食時こは、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	98	5.8%
12	食べない食品や利用しない食材等をフードバンクや子ども食堂等に寄付をする	172	10.1%
13	その他	39	2.3%
	無回答	26	1.5%

7. 多様な働き方の推進について

問 28 今後、どのような働き方を普及させるべきだと思いますか。(3つまで○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	在宅勤務	799	44.5%
2	モバイルワーク	214	11.9%
3	コワーキング	191	10.6%
4	ワーケーション	141	7.9%
5	副業・兼業	539	30.0%
6	フレックスタイム制	614	34.2%
7	ジョブ型雇用	219	12.2%
8	その他	37	2.1%
9	よく分からない	461	25.7%
	無回答	86	4.8%

【テレワークについて】

問 29 (現在お仕事をされている方のみお答えください。) ※Q3で「1」～「8」を選んだ方

在宅勤務(自営型テレワークを含む)、モバイルワーク、コワーキング、ワーケーションのように、
情報通信技術を活用し、オフィスから離れた場所で働くことを総称して「テレワーク」といいます。
あなたは、これまでにテレワークをしたことがありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 909 人)

	項目	回答数	回答比率
1	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前からテレワークを実施している	21	2.3%
2	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中のみ実施した	45	5.0%
3	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、緊急事態宣言期間以外も実施した	42	4.6%
4	実施したかったができなかった	196	21.6%
5	実施するつもりもなく、実施しなかった	428	47.1%
	無回答	177	19.5%

副問1 (問 29 で「4」もしくは「5」を選んだ方のみお答えください。)

テレワークを実施できなかったまたは実施しなかったのはなぜですか。(1つだけ○印)

(回答者数 624 人)

	項目	回答数	回答比率
1	職場でテレワークが認められていない	58	9.3%
2	職場でテレワークは認められているが、自宅等のインターネット環境が整っていないためできない	9	1.4%
3	職場でテレワークは認められているが、申請手続きが煩雑または申請しづらい雰囲気がある	1	0.2%
4	職場でテレワークは認められているが、出勤した方が業務に集中できるなど都合がよい	6	1.0%
5	業務内容がテレワークに適していない	546	87.5%
	無回答	4	0.6%

【副業・兼業について】

問 30（現在お仕事をされている方のみお答えください。） ※Q3で「1」～「8」を選んだ方
副業・兼業をしたいと思いますか。（1つだけ○印）

（回答者数 909 人）

	項目	回答数	回答比率
1	現在、長期(30日を超える)または期間の定めのない副業・兼業をしている	49	5.4%
2	現在、日雇いまたは短期(30日以内)の副業・兼業をしている	32	3.5%
3	現在はしていないが長期(30日を超える)の副業・兼業をしたいと思います	13	1.4%
4	現在はしていないが日雇いまたは短期(30日以内)の副業・兼業をしたいと思います	31	3.4%
5	現在はしていないが就業期間に関わらず副業・兼業をしたいと思います	137	15.1%
6	勤務先から禁止されている、時間的余裕がないなどの理由でできない	245	27.0%
7	したいと思わない	305	33.6%
	無回答	97	10.7%

副問1（問30で「1～5」を選んだ方のみお答えください。）

副業・兼業をしている、またはしたいと思う理由は何ですか。（1つだけ○印）

（回答者数 262 人）

	項目	回答数	回答比率
1	現状の仕事だけでは生活費が賅えないため	70	26.7%
2	減った収入を補うため	38	14.5%
3	将来への備えのため、または購入したい商品等があるため	55	21.0%
4	専門的知識やスキルを活かしたいため	24	9.2%
5	本業とは別にやりたいことであるため	31	11.8%
6	将来の転職や起業に向けた準備のため	17	6.5%
7	その他	21	8.0%
	無回答	6	2.3%

副問2(副問1を回答された方のみお答えください。)

副業・兼業としてどのような職種の仕事をしていますか、またはどのような職種を希望しますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 256人)

	項目	回答数	回答比率
1	管理的職業	15	5.9%
2	専門的・技術的職業	72	28.1%
3	事務的職業	39	15.2%
4	販売の職業	38	14.8%
5	サービスの職業(理容・美容・飲食店ホール・調理・ホテル接客係など)	49	19.1%
6	サービスの職業のうち介護・福祉	14	5.5%
7	保安の職業(警備員、交通誘導員など)	5	2.0%
8	農林漁業の職業	36	14.1%
9	生産工程の職業	16	6.3%
10	輸送(バス・タクシー運転者など)・機械運転の職業	12	4.7%
11	建設・採掘の職業	8	3.1%
12	運搬(引越・倉庫作業、新聞配達など)・清掃・包装等の職業	31	12.1%
	無回答	37	14.5%

8. 地球温暖化対策について

問 31 地球温暖化問題に対して、どの程度関心がありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	非常に関心がある	631	35.2%
2	少し関心はある	921	51.3%
3	ほとんど関心がない	155	8.6%
4	全く関心がない	26	1.4%
	無回答	62	3.5%

問 32 地球温暖化問題について、次のことを知っていましたか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	パリ協定では、世界の年平均気温の上昇を産業革命以前に比べ2°C以内に抑えるという長期目標を掲げているが、世界気象機関によると、令和2年度(2020年度)の世界の平均気温は、産業革命以前に比べ既に約1.2°C上昇している	892	49.7%
2	「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の「1.5°C特別報告書」によると、パリ協定の努力目標の1.5°Cを大きく超えないようにするには、世界全体で令和32年(2050年)頃までにカーボンニュートラルにする必要がある	340	18.9%
3	日本は令和32年(2050年)のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいる	545	30.4%
4	高知県は令和32年(2050年)のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいる	224	12.5%
	無回答	654	36.4%

問 33 地球温暖化対策について、次の中であなたが既に取り組んでいるものはありますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	何もしていない(しない)	128	7.1%
2	エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしているほか、使用時間をできるだけ短くする	766	42.7%
3	テレビの視聴時間を少なくする	420	23.4%
4	冷蔵庫に物を詰めこみすぎないようにするほか、ドアを開けたらすぐ閉めるようにする	955	53.2%
5	無駄な電気をきったり、こまめに消灯するようにする	1,271	70.8%
6	エコバッグでの買い物を心がける	1,369	76.3%
7	通勤・通学は、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	283	15.8%
8	家電製品の買い替え時には省エネ性能が高いものに買い替える	757	42.2%
9	照明をLEDに替える	982	54.7%
10	従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備(エコジョーズ、エコキュート等)を設置する	428	23.8%
11	ガスを利用して発電し、その際に発生する排熱を給湯などに利用できるシステム(エネファーム等)を設置する	36	2.0%
12	太陽光発電システムを設置する	207	11.5%
13	家庭用蓄電池を設置する	38	2.1%
14	低燃費車(ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車)を使用している	263	14.7%
15	自宅を省エネ住宅(ZEH)にする(リフォームを含む)	48	2.7%
16	その他	16	0.9%
	無回答	100	5.6%

問 34 地球温暖化対策について、次の中で、あなたがまだ取り組んでいないが、今後取り組んでいきたいと思うものはありますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	何もしていない(しない)	72	4.0%
2	エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしているほか、使用時間をできるだけ短くする	294	16.4%
3	テレビの視聴時間を少なくする	360	20.1%
4	冷蔵庫に物を詰めこみすぎないようにするほか、ドアを開けたらすぐ閉めるようにする	326	18.2%
5	無駄な電気をきったり、こまめに消灯するようにする	275	15.3%
6	エコバッグでの買い物を心がける	195	10.9%
7	通勤・通学は、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	139	7.7%
8	家電製品の買い替え時には省エネ性能が高いものに買い替える	506	28.2%
9	照明をLEDに替える	436	24.3%
10	従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備(エコジョーズ、エコキュート等)を設置する	234	13.0%
11	ガスを利用して発電し、その際に発生する排熱を給湯などに利用できるシステム(エネファーム等)を設置する	121	6.7%
12	太陽光発電システムを設置する	232	12.9%
13	家庭用蓄電池を設置する	289	16.1%
14	低燃費車(ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車)を使用している	418	23.3%
15	自宅を省エネ住宅(ZEH)にする(リフォームを含む)	169	9.4%
16	その他	14	0.8%
	無回答	333	18.6%

問 35 今後、温室効果ガスの排出を削減していくために、県が力を入れるべき施策は何だと考えますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,795 人)

	項目	回答数	回答比率
1	省エネ住宅(ZEH)や電気自動車等に対する補助・減税の充実	774	43.1%
2	電気自動車の充電スタンドの設置拡大	654	36.4%
3	燃料電池車の普及及び水素ステーションの設置	371	20.7%
4	再生可能エネルギー(太陽光発電、水力発電、風力発電、バイオマス発電等)の普及拡大に向けた支援の強化	809	45.1%
5	公共施設への太陽光発電パネルの設置	666	37.1%
6	環境への負荷の少ない製品やサービスの開発・普及に向けた支援の強化	531	29.6%
7	コンパクトでエネルギー消費の少ないまちづくり(公共交通の充実、自転車専用道の整備等)の推進	481	26.8%
8	温室効果ガスを吸収する森林の間伐や再生林による整備の強化	754	42.0%
9	住宅や建築物への県産材の活用など木材利用の推進	638	35.5%
10	地球温暖化問題に関するシンポジウム、イベント等の啓発の強化	206	11.5%
11	LEDの導入などの、家庭のできる地球温暖化対策の普及啓発の強化	681	37.9%
12	教育現場での地球温暖化教育の充実・強化	615	34.3%
13	温室効果ガス削減に取り組む動機付けとなる仕組み(地域通貨・ポイント制度など)の導入	309	17.2%
14	その他	42	2.3%
	無回答	161	9.0%